



本号の主な内容	
2面	3面
全国造園フェスティバル開催 各支部からの報告 宮城県支部、愛知県支部、京都府支部、 広島県支部、福岡県支部	
4面	植栽基盤診断士合格者98名決まる 浜名湖花博 5周年 国際コンペ 世界から 庭園デザイン公募 / 【事務局の動き】

## 全国都市公園整備促進大会 開催 緑の総合的な施策推進へ

全国の公園行政関係者、国会議員 約500人集う



全国都市公園整備促進大会であいさつする冬柴国土交通大臣 (11月20日・東京)

平成19年度全国都市公園整備促進大会が11月20日、東京・千代田区平河町の砂防会館で開かれ、全国の公園緑地行政担当者を中心に国会議員、国土交通省関係者など約500人が集まった。

大会は冒頭、全国都市公園整備促進協議会会長の藤代孝七船橋市長があいさつ。「福田総理は、防災対策を最重要課題に挙げており、安全で安心できる街づくりには不可欠な都市公園の整備は急務である。また、地球温暖化対策や地域の活性化の面からも地方自治体の特色を發揮した都市公園整備が重要な役割を担っている。さらに、民有地を活用した緑化も求められている。しかしながら平成20年度も厳しい財政状況であり、新規事業への支障も懸念されており、特段の配慮を期待したい」と語った。

### 歴史的環境の保全・整備に対応 自由民主党に税制改正要望

11月1日、自由民主党本部で国土交通部会・国土建設関係団体委員会合同会議が開かれ、平成20年度環境は、美しい日本の国土形成する次世代に継承されるべき国民共有の資産であるべきと、歴史的環境の保全・整備に、自由民主党に税制改正要望が行われた。

## 樹林

紅葉・黄葉前線が東京近辺に到達するのは11月中下旬。今年は暖かい秋の影響で少し遅れがみでしたが、公園や街路樹、住宅街の木々が美しく色づきました。山里の紅葉には及びませんが、街なかの紅葉も美しいものです。ビルの谷間を赤や黄に染め上げ、歩道をきれいな落ち葉で彩り、更けゆく秋をしつとりと堪能させてくれました。

やがて木枯らしが吹き、すっかり葉を落とすと冬。裸木の姿もきつぱりとしていて、いいものです。街なかの緑は、せわしない都会人にとって、もとも身近な自然です。とくに落葉樹は四季の変化を気づかせ、心豊かにしてくれるもの。なくてはならないものです。

## 街にきれいな花を咲かせたい

フローラルプランナーズチーム代表 山田 幸子



さらに、街の中にもっと花があったらいいのに、と思います。きれいな花は人をやさしくする、街路樹や公園の緑とは違った効果があるようです。数年前のことですが、都心の駅周辺の地下鉄工事が終わり、駅前の交差点近くの歩道に新しく小さな花壇ができました。

人ごみの中で信号待ちをしていて、なぜかほっとします。この駅を降りる用事ができるのを、心待ちにするようになり、花が枯れはじめたので、そうすると、花壇は格好のゴミ捨て場。空き缶や吸い殻、紙屑を捨てる人がいなくなりました。

住宅街の花と緑は、個人の庭が拠点です。小さな点が増え、それがつながって線となり、面となって広がり、心地よい街となる……。そうやってほしいと願っています。

そのためには、まず自らが実践。小さな庭ですが、木を植え、花を育てています。季節ごとに花が咲き、チヨウヤハチ、野鳥がやってきます。庭は小さな自然です。この自然を守り育てるために、試行錯誤を繰り返しています。

いえ逆に、植物自身がさまざまなことを教えてくれました。庭に植えた植物は人が目をかけ、手をかけてやらなければうまく育ってくれません。そして植物は育つことで、人にさまざまな喜びを与えてくれるのです。

もともと花が好きなのが嬉しくてほしいと思います。そのために、花の本をつくり、新聞や雑誌で花を育てる楽しさを提案しています。

ました。三角形に縁取られた小さな花壇ですが、街なかのちよっとしたオアシスとなりました。

初夏、ペチュニアの紫や白、ピンクの花がきれいに咲き乱れていました。道行く人々は花に目をやり、ほんの少しですが、和やかな気分になるように

きれいな花壇は、安心・安全、ホスピタリティ(歓迎性)のシンボルです。花には集客力があり、街を活性化させる力を持っています。心地よい街づくりには重要な役割を演じてくれます。街なかにきれいな花壇が増えてほしいと、心から願うものです。

では、違いを主張するような公園づくりを進めていた方がいい」と語った。

プロデューサーの小川巧氏が「つながりのプラットフォームとしての公園」と題して、プロデューサーを務めた愛知万博「愛・地球博」における万博史上初の市民参加プロジェクトを例に、万博は19世紀の国家の力を見せる博覧会から、20世紀に企業の力、21世紀に市民の力を見せる場に変わった。市民の力をいかに得て、發揮してもらうかが、

みどり溢れるまちづくりの観点からも必要不可欠である。

しかしながら、当該環境は、これら形成する施設の老朽化や経済的負担による維持の困難性等を背景に、相続等を契機に失われる傾向があり、このため、これらの貴重な歴史的環境を保全・整備することによる歴史的環境に配慮したまちづくりを推進する必要があります。

このため、以下の税改正の税制特例措置の要望を行った。

①個人・法人が保有する歴史的な重要施設及びその敷地(以下「歴史的な重要施設等」)に係る課税標準の特例措置の創設

歴史的な重要施設等について、所有者の保有コストに係る負担軽減を図るため

②個人・法人が歴史的な重要施設及びその敷地を地方公共団体又は歴史的環境整備機構への譲渡を促進するため、所有者に係る所得税・法人税の特例措置

③歴史的な重要施設及びその敷地を取得する場合(施設を復元する場合を含む)の非課税措置の創設

歴史的な重要施設等に係る登録免許税・不動産取得税の非課税措置を講ずることにより、歴史的な環境を保全・整備

今後には欠かせず、公園もあらゆる人をつなぎ市民力を発揮するプラットフォームとして、重要な位置を占めるなど、公園のマネジメントのあり方について語った。

大会は最後に、歴史・文化を活かしたまちづくりの推進など、8項目にわたる大会決議を満場一致で採択。都市公園整備の推進に向けて努力していくこととした。

2008 新年 造園人の集い

平成20年1月7日(月)  
18:00より  
グランドプリンスホテル赤坂  
新館2階 クリスタルパレス  
☎03-3234-1111

皆様お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

# 2007 開催 バル

## 各支部・各会員等で 多彩なイベント実施



見るだけでなく手に取り、実際の体験を楽しんでいただこうと、アレンジメントや寄せ植え体験を実施。家族連れをはじめ、多くの市民が参加した

愛知県支部は、10月6日(土)に名古屋港区の戸田川緑地にて全国造園フェスティバル2007を開催しました。

昨年は名古屋市内6箇所及び豊橋、豊田の県内各地の公園にて、各地域の愛護の公園にて、各地域の愛護

行政主催イベントとの同

つり2007が開催期間中、NHKの歌のおねえさんによるファミリーコンサート等多彩なイベントが公園内で開催されており、親子連れでの入場者が多く、協会のPRを行うにはタイミングの良い日でした。後で聞いたところ当日の入場者は5190人とのことでした。

イベント内容としては、PR用のポスターを掲示し、花鉢(シクラメン・各種ハーブ鉢)や草花等の種子の無料配布と親子による花壇づくりを行いました。イベント開始前の準備段階からお客様が掲示板の周りを取り囲み、ポスターやPR用の資料を親子でもたちへ説明している光景が観られました。

また、親子による花壇づくり(今年は、スカシユリの球根の植付け200個)では、花が咲揃った姿を来年見られるとのことで好評



地元住民の方々と花壇づくりのようす

「屋上緑化・壁面緑化」の展示、「公園内の清掃活動」をイベント参加者と会員企業で行いました。

当日は秋晴れという言葉がぴったりの天候となり、午前9時の開園時間に間に合わせるように資材の搬入や設置作業を行いました。

昨年は事前に愛護会の方々へ参加要請を行いました。今年も今年も不特定の公園来園者に造園フェスティバルを宣伝し、体験をしていただくため、来園者の方々の

「多々の関係者と関わり  
イベントの仕掛け学ば  
京都府支部

(支部会員・裕孝徳)

# コミュニケーションの機会 得られたことが貴重な経験

## 愛知県支部

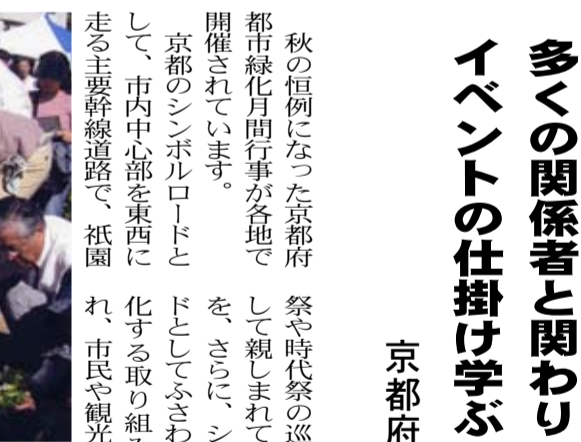
時間というところで、広報への掲示内容の確認、他のブースとの打ち合わせ、当日総合案内所配布していただくチラシの作成等、イベントと共に成功させるために行政側と多くの打ち合わせが必要となりました。

私たちが愛知県支部は、「花と緑で美しい日本を」というメインテーマのもと、「秋まつり」と共催という形で会員企業14社にて開催することになりました。

行政主催イベントとの同

造園業にしかできないことの一つは、植えることが終わりでなく、植えた物を生長、維持管理し、さらにこれを楽しみむことだと考え、「百聞は一見にしかず」の通り、見るだけでなく手に取り、実際の体験を通じて楽しんでいただくことが、愛知支部のブースに集まり、スタッフのアレンジメントフラワーの説明をしながら実演をし、ポット苗の説明をしながら植木鉢に寄せ植えを行いました。

今年で2回目の造園フェスティバルを終え、「この花きれいですね。なんていう名前ですか?」「このカボチャ、小さくてかわいいですけど、食べられるのですか?」というように、興味を持たれるポイントが人それぞれ違いましたが、私達が行動をしたことにより、一般の来園者の皆様からさまざまな反応があったということが、私達にとって一番重要なことであり、そのような会話を通じてコミュニケーションを持つ機会を得られたことが、我々にとって大変貴重な経験となりました。



地元住民の方々と花壇づくりのようす

秋の恒例になった京都府都市緑化月間行事が各地で開催されています。

京都のシンボルロードとして、市内中心部を東西に走る主要幹線道路で、祇園祭や時代祭の巡行ルートとして親しまれている御池通を、さらに、シンボルロードとしてふさわしく、活性化の取り組みが進められている御池通に、市民や観光客に大いにPRする企画を地元住民、沿道事業者、経済界、行政が一体となつた催し「OIKE Festa 2007」が10月6日、爽やかな秋空のもと、御池通(幅員50m)の河原町と堀川間約1.5kmのケヤキ並木の歩道を会場に開かれました。

沿道は、花や緑のアート作品で彩られ、オープнкаフェやフラワージュップなどがオープンし、行き交う人たちは週末の秋を楽しみました。

「OIKE Festa」は、昨年から開かれ、京都造園界も参画し2年目を迎えました。本年は、当京都府支部、府造協、市造協の3協会合同で、「全国造園フェスティバル」を企画協賛することとし、3つの事業展開を提案。行政担当者、地元自治連合会の市民の方々と強い要望と期待をうけて協議が整い実現しました。

一つは、花と緑の啓発運動として京都市役所前広場にテントを設け、パネル展示で花緑の大切さや造園建設の使命と役割を紹介したほか、ガーデンシクラメンなどの花鉢、花の種、PR用のチラシやボールペンを配布し、より一層の啓発に取り組みました。

二つには、フラワースタンド20基を製作し、御池通会場の中央から西の植樹帯に建て込み、花と緑が溢れる憩いの御池通を演出。

三つには、地元住民の方々や花壇づくりを企画し、御池通の西区域の植樹帯2カ所に花壇づくりをして、秋の花約400株を、会員の指導により、地元自治会連合の元気な子どもたちと多くの住民参加で、丁寧に花を植え付け、市民

(事務局長・荻野靖也)



親子による花壇づくりのようす

10月6日(土)に国営みちのく杜の湖畔公園の一面を会場にお借りして「花と緑で美しい日本を」をメインテーマとした「全国造園フェスティバル2007」宮城県支部行事(街道緑杜の湖畔公園)ではポピー

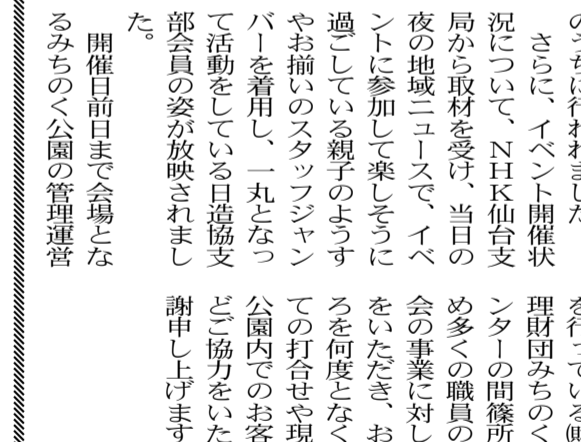
開催当日は東北の秋とは思えないほどの晴天に恵まれた一日でした。

会場である国営みちのく杜の湖畔公園ではポピー

つり2007が開催期間中、NHKの歌のおねえさんによるファミリーコンサート等多彩なイベントが公園内で開催されており、親子連れでの入場者が多く、協会のPRを行うにはタイミングの良い日でした。後で聞いたところ当日の入場者は5190人とのことでした。

イベント内容としては、PR用のポスターを掲示し、花鉢(シクラメン・各種ハーブ鉢)や草花等の種子の無料配布と親子による花壇づくりを行いました。イベント開始前の準備段階からお客様が掲示板の周りを取り囲み、ポスターやPR用の資料を親子でもたちへ説明している光景が観られました。

また、親子による花壇づくり(今年は、スカシユリの球根の植付け200個)では、花が咲揃った姿を来年見られるとのことで好評



地元住民の方々と花壇づくりのようす

「多々の関係者と関わり  
イベントの仕掛け学ば  
京都府支部

(事務局長・荻野靖也)



平成13年の「しずおか緑・花・祭（静岡県吉田町）」、「同16年「浜名湖花博」（静岡県浜松市）」で開催され、全国的にも注目された「ワールドガーデンコンペティション」(WGCC)を浜名湖花博5周年にあたる同21年に実施します。WGCCは世界の一流ガーデンデザイナーと日本のガーデンデザイナーが庭づくりを競い合う世界的にも類を見ないコンテストです。

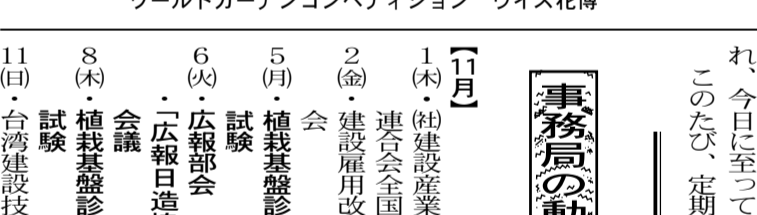
WGCC事務局では、日本代表として世界の一流ガーデンデザイナーと庭づくりを競い合う「ワールドガーデンコンペティション」を公募しています。

WGCCは「しずおかガーデン日本大賞」(200万円)をはじめ賞金総額は350万円のコンテストです。募集要項は以下の通りです。

【作品募集要項】  
国内代表のデザイナーを決定するための図面審査です。国内代表は4枠で、個人、団体、グループ、法人での応募も可能です。決定した4枠のガーデンデザイナーの方には175万円(税込)の設計・施工管理費をお支払いします。また実際の施工にあたっては700万円(税込)を上乗せして後「参加登録確認書」を送付します。

WGCCは「しずおかガーデン日本大賞」(200万円)をはじめ賞金総額は350万円のコンテストです。募集要項は以下の通りです。

【作品募集要項】  
国内代表のデザイナーを決定するための図面審査です。国内代表は4枠で、個人、団体、グループ、法人での応募も可能です。決定した4枠のガーデンデザイナーの方には175万円(税込)の設計・施工管理費をお支払いします。また実際の施工にあたっては700万円(税込)を上乗せして後「参加登録確認書」を送付します。



# 浜名湖花博5周年 国際コンペ開催

## 世界から庭園デザインを公募

静岡県は、浜名湖花博5周年にあたり、ワールドガーデンコンペティションを実施する。今回、募集要項が発表され、広く会員からの応募が期待されている。

WGCCは「しずおかガーデン日本大賞」(200万円)をはじめ賞金総額は350万円のコンテストです。募集要項は以下の通りです。

【作品募集要項】  
国内代表のデザイナーを決定するための図面審査です。国内代表は4枠で、個人、団体、グループ、法人での応募も可能です。決定した4枠のガーデンデザイナーの方には175万円(税込)の設計・施工管理費をお支払いします。また実際の施工にあたっては700万円(税込)を上乗せして後「参加登録確認書」を送付します。



# 植栽基盤診断士資格者決まる

## 認定試験98名 難関突破

植物が良好に育つ土壌環境を整える専門家「植栽基盤診断士」の資格制度は、日造協が創設して今年で5年目となる。

9月2日に「学科試験」を全国10会場で、11月上旬に「実技試験」を東京都立川市の国営昭和記念公園で実施した。近藤三雄東京農業大学教授を委員長とする「植栽基盤診断士認定試験」

累計は610名となった。屋上をはじめとする人工・特殊緑化や都市再生にともなう植栽など、土壌汚染も危惧されるさまざまな植栽環境への対応が必要となっている。

【試験日程受験合格者】  
▼学科試験 9月2日・187名(100名)▼実技試験 11月5日・6日・8日・9日・107名(98名) (※前年度までの実技不合格者を含む)  
これにより、認定された植栽基盤診断士の5年間の

【北海道】 小川浩(株)植栽園、若林正明(株)四宮園(宮城県)中鉢達志(東北緑化環境保全)【群馬県】 坂本登(さくら造園)【埼玉県】 北田勝(株)植栽園、庄田輝明(株)清春園、山口勝久(西武造園)【東京都】 千葉久(西武造園)【千葉県】 西武造園、東関東営業所、渡邊利男(株)【茨城県】 小野寺健(株)武蔵野種苗園、富岡隆(西武造園)【大島県】 株エコー、貴博名(株)日比谷アメニス、森下剛(株)日比谷アメニス、諏訪勝(尾瀬林業)【千村俊介(イビデングリーンテック)】鈴木雅己(イビデングリーンテック)【村上広之(イビデングリーンテック)】内藤昌男(株)西野】

【静岡県】 鈴木浩(みどり園)【宮内桂(田原造園)】【愛知県】 安田忠史(岩間造園)【福井県】 大島造園、木村武志(株)未武造園、龍野暢(東邦)【岡部裕治(株)錦花園】清水祐樹(箱根植木)【河村光則(東光園緑化)】滝沢勝則(内山緑地建設)【神奈川県】 鮫島宗之(内山緑地建設)【池田朋弘(株)田澤園】山梨県 今村浩一(株)富士グリーンテック、相田佳利(株)富士グリーンテック、伊藤博光(株)伍福園、小田切州示(株)伍福園、有賀章一(株)園建【新潟県】 田村勝英(グリーン産業)【富山県】 橋本みはる(株)曾根造園、山田守展(株)曾根造園、盛田康則(株)盛田造園【石川県】 立花栄志(株)立花造園、正田國博(定田豊昌園)【岐阜県】

【長野県】 大月峰和(イビデングリーンテック)【未武造園】木村武志(株)未武造園、龍野暢(東邦)【岡部裕治(株)錦花園】清水祐樹(箱根植木)【河村光則(東光園緑化)】滝沢勝則(内山緑地建設)【神奈川県】 鮫島宗之(内山緑地建設)【池田朋弘(株)田澤園】山梨県 今村浩一(株)富士グリーンテック、相田佳利(株)富士グリーンテック、伊藤博光(株)伍福園、小田切州示(株)伍福園、有賀章一(株)園建【新潟県】 田村勝英(グリーン産業)【富山県】 橋本みはる(株)曾根造園、山田守展(株)曾根造園、盛田康則(株)盛田造園【石川県】 立花栄志(株)立花造園、正田國博(定田豊昌園)【岐阜県】

# 日造協会員へのランドスケープデザイン 定期購読キャンペーン

「ランドスケープデザイン」は、日本で唯一の専門雑誌として、1995年に創刊し、2004年2月に隔月刊としてリニューアルされ、今日に至っています。このたび、定期刊行書物

「環境の世紀」「緑の世紀」としては唯一の本格的造園雑誌として、(社)日本造園建設業協会を対象とした定期購読キャンペーンが行われることとなりました。

とされる時代、国外、国内での多分野における写真を多用した情報が満載です。ので、造園建設業領域の拡大等、新たな時代における業務展開を考えるうえでの指導書としてふさわしい雑誌と思われます。2008年1月までに定期購読を申込みますと日造協会員は、特別割引サービスとして定期購読料20%OFFとなっております。お申込みはFAXまたは電話をご利用ください。

# 事務局の動き

- 11月
- 1(木) (社)建設産業専門団体連合会全国大会
- 2(金) 建設雇用改善推進大会
- 5(月) 植栽基盤診断士実技試験
- 6(火) 広報部会
- 8(木) 植栽基盤診断士実技試験
- 11(日) 台湾建設技術検討委員会

- 13(火) 街路樹剪定士指導員レベルアップ研修会
- 15(木) (社)建設産業専門団体連合会総務部会
- 16(金) RLA資格検定委員会
- 19(月) 植栽基盤診断士認定審査委員会
- 20(火) 全国都市公園整備促進大会
- 21(水) (独)都市再生機構との意見交換会

- 26(月) 街路樹剪定士指導員レベルアップ研修会
- 27(火) 造園基幹技能者制度推進協議会土木系分科会
- 28(水) 建設系CPDシステム部会
- 30(金) 基幹技能者に関する講演(司法書士会)
- 3(月) 総務委員会企画部会
- 5(水) 造園ものづくりコンサルタンツ協会との意見交換会

- 6(木) 街路樹剪定士指導員レベルアップ研修会
- 7(金) 造園・環境緑化産業振興会シンポジウム
- 11(火) 滋賀県支部技術調査講習会
- 12(水) 事業委員会(全国)
- 13(木) 正副会長・3常設委員長合同会議
- 18(火) 技術委員会(全国)
- 19(水) 基幹技能者制度推進協議会